

グループ1

主なテーマ： ①夢と希望のある産業と仕事づくり / ②未来を担う人づくり

よいところ

よくなしてほしいところ

必要な取組・アイデア

環境
(自然)

- 自然が豊かでよい。請戸川ぞい山なみの景色
- 高瀬川溪谷の山の幸(キノコ)
- 請戸での海釣り

- 土壌汚染値が高く(立野辺り)、安心できる食材づくりや観光農園ができない
- 国の基準が高すぎる。原発ゴミ基準はひどい

- 除染の推進。再除染も必要。測定結果基準を満たしていない
- 請戸漁港を小名浜港や相馬港のように大きくしてほしい→仕事も生まれる
- 釣り公園を造ってほしい
- 海開きしてほしい。子ども向けの遊べる施設を考えてほしい
- 環境測定及び整備費用を個人に出してほしい

(都市) 環境

- 町の再開発計画に未来を感じる

- 中心部以外は街灯が少なく夜が暗くて不安
- 解体されていない家屋がまだ多い(自費で解体が難しい人もいる)
- 町の中心部以外は歩道も草だらけ

- 家屋の解体に補助金などが必要。条件も変える必要がある。

文化

- 「はせがけ」の田んぼの風景をもう一度見たい
- 十日市の復活は嬉しい

- カントリーエレベーターを便利だが景観はいまいち
- 花嫁行列やさくらの会など高齢者が担っている
- みんなが楽しく、明るく、元気よく暮らせる集落になってほしい
- イベントが多いのは良いこと。でも情報が多すぎる

- 「はせがけ」の田んぼの風景をもう一度見たい
- 十日市を新町通りで開催してほしい。話し合いを始めるべき
- 桜並木もよい。でもそれを管理する「さくらの会」が人数不足。是非ご協力を！
- コミュニティー回復の意思を確認し、未来をになう人がつどう
- 町民みんなで里山づくり
- 最先端技術を使った「懐かしい風景」の維持
- 博物館の整備を位置づけてほしい

未来への展望
(産業)

- 移住者が多い→チャレンジしている
- 先端技術をもちいる企業の進出が増えている
- 今までにない規模の仕事が生まれ、全国から人が集まっている

- 物づくり、売るものなければならない
- 働いていても浪江町に住んでいる人は少ないように思われる
- 商業だけでは「繁栄」しない
- 大企業と地方の賃金格差が大きく、若い人材が都市に流れてしまう
- 原発の収束作業専門的訓練養成必要

- 若い人が定住して自分のお店を持てる町にしてほしい
- 町の特産品のブランド化
- 「五十人山」等の懐かしいお菓子を町民の手で復活

(子育て) 未来への展望

- 子育て世帯は、ホームセンター、ドラッグストア、病院で苦労している
- 学校にプール等足りないものが見受けられる
- 東京までの電車アクセスが不便

- 不動産価格を下げて、移住者が定住できる環境を
- ワークショップをたくさん開催。特に先輩町民の声に耳を傾けながら
- ホテル代、食事代、家賃などの物価が高いので、安くしてほしい

よいところ

- ☐ 景観(整備された町)
- ☐ 子育て世代の支援が手厚い
- ☐ 診療所がとてもよい
- ☐ 買い物。イオンがあれば十分
- ☐ 過ごしやすい気候(冬は雪が少ない)

よくなしてほしいところ

- ☐ 病院がない
- ☐ 子育て世代、移住者が住みやすいインフラの整備
- ☐ 年金でも住める町
- ☐ 住んでいる近くで米や野菜つくりたい
- ☐ 他地域からのアクセス性向上
- ☐ 帰還困難区域への立ち入り
- ☐ 除染等が終わっていない場所がある

必要な取組・アイデア

- ☐ 移住者が家建てる土地の確保
- ☐ 病院・お店の整備
- ☐ 高齢者が安心して入られる介護機能
- ☐ 田舎暮らしができるエリアをつくる
- ☐ 常磐線に新幹線を通す
- ☐ 若い人の働く場となる企業を誘致する
- ☐ 今いる人で草刈、防犯をまわせる工夫
- ☐ 帰還困難区域への立入に必要な書類の削減。特例カードみたいなものをつくる
- ☐ 神社仏閣の賠償

生活

- ☐ 人のやさしさ
- ☐ 伝統芸能田植え祭りなど
- ☐ 豊かな自然が多くある
- ☐ 世間から注目されている地域

- ☐ 歴史が避難して忘れられる。
- ☐ 移住者・帰還者が増えてほしい
- ☐ 町に愛着を持っている人が少ないように感じる
- ☐ 土日は人がいなくてさびしい

- ☐ 今の／これからの浪江町の良さを伝える
- ☐ 浪江への移住をうながす PR(SNS を上手く使う)
- ☐ ターゲットを絞った PR 活動(特に若い世代)
- ☐ 土日営業の飲食店を増やす

魅力

よいところ

- なみえ新聞、LINE オープンチャットが情報源
- UR なみいえ、浜センらには情報が集まっている
- 生涯学習課、権現堂集会所、などでいろいろやっている

よくなしてほしいところ

- サロン表 社協が作っている。一人で作っていて大変
- 社会福祉協議会が広めたい情報があまり広く広まっていない？
- 弘前大学の取組が町民にあまり知られていないのでは？
- なみえ新聞が読まれない・使われない？
- タブレットの使い方を考えなおしては？
- 情報をとれない人 取ろうとしない人をどうケアしていくか
- 放射線については、自分が知ろうと思わないと情報を取りにいかないのでは

必要な取組・アイデア

- 移住者が家を建てる土地の確保
- 桑折町は・スポーツ・趣味 それぞれの情報の一覧表があり便利だった
- 配布されているタブレットの有効活用、再活用
- 年代別などで町民を集めて体力測定

- 健康教室への大学などの支援が現在も継続している(道の駅 by 大玉村チロル)
- カラオケ、体操、健康教室、それぞれの集会所でもやっている

- 健康維持の取組は、町民自らやっていくようにできるとよい(ダンベル体操のように)

- 町民の体力測定を健康管理目的で行ってはどうか？

- 診療機能の強化
- 眼科診療が町になく、原町は混雑している
- 最期まで住める町になっていない。帰還者がまた町から去ってしまう

- オンラインの診療体制強化
- 広域(双葉郡)で医療・介護を考える
- 高齢者向けのマンション。民間で難しければ町で整備

- ねっばす隊(毎月第一土曜日活動)

- 前期基本計画では、企業誘致を進め、子どもが増えた。後期基本計画では高齢者への支援を充実させてほしい

- 介護できる人材の育成(有資格者)
- 能力・スキルを持った移住者の活用
- 高齢者が高齢者をもっとサポートできるようにする

情報共有・広報

健康管理の
とりくみ

医療介護

人材

	よいところ	よくなしてほしいところ	必要な取組・アイデア
自然環境	☐ 水がおいしい ☐ 地形の特徴		☐ 観光名所づくり
インフラ		☐ アパートばかりたっている	☐ 戸建て物件(畑つき) ☐ ホームセンター ☐ 野菜の直売所、朝市
行政	☐ 役場が柔軟	☐ 行政と町民の情報共有ができていない ☐ 合意形成のプロセスが一番大事 ☐ 復興の主人公が町民となっていない	☐ よりオープンな住民参加の仕組み ☐ 小規模多機能自治 ☐ 町民参加の公募
教育・文化		☐ 文化行政の遅れ ☐ 中学生以上の子どもが少ない	☐ アートの学び場 ☐ 合唱、サークル ☐ 日本一の高等教育の場
コミュニティ	☐ なみえアベンジャーズが熱い ☐ 地元の方がオープン ☐ 人がやさしい ☐ 樋渡、牛渡、行政区が熱い ☐ 贈与の気持ち	☐ 古くからの住民、移住者の関係づくり ☐ 誰が住んでいるかわからない ☐ 団地の自治会がない	☐ 回覧板復活 ☐ 住民主体の名簿づくり
なりわい		☐ 仕事がまだあまりない	☐ 農業参入の簡素化 ☐ 漬物特区、漬物加工所

□ 浪江でなければならない理由づくりが必要

人

- | | |
|----------------|-------------------|
| □ 人が優しい | □ 帰って来た同級生が助けてくれる |
| □ 新町民ともなかよくなった | □ 障がい者・高齢者がなかよし |
| □ 贈与のキモチがある | □ 公民館活動がさかん |
| □ 協力的(一体感) | □ イベントがめじろおし |
- 震災前の隣人や友人と疎遠になって来ている

復興計画

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| □ 復興状況がわかりにくい | □ 復興状況がワンストップでわかるとよい |
| □ 情報(助成金取得の仕方など)が誰にでもオープンになっていない | □ 計画策定における町民参画(公募制の復活など) |
| □ チラシの管理 | □ 浪江町を支える産業や人口推移を明確にしてほしい |
| □ 復興の規模 | |

自然

- | | |
|-------------|-----------------------|
| □ 地形がきれい(迫) | □ 美しいふるさとづくり(迫100選!) |
| | □ 高瀬川溪谷の整備を計画的に進めてほしい |

高齢者

- | | |
|----------------|-------------------|
| □ 高齢者を支える機能が不足 | □ 病院 |
| | □ 高齢者施設(老人ホームなど) |
| | □ 高齢者が住みやすいまち |
| | □ 認知症になっても住みやすいまち |

インフラ等整備

- | | |
|-------------------------|------------------|
| □ 駅前開発が始まり、草ぼうぼうが少なくなった | □ 早く県道の整備を進めてほしい |
| | □ 駅をきれいにする |

若者

- | | |
|-----------------|---------------|
| □ 企業が進出してきている | □ 大学の誘致 |
| □ F-REI が動き出した | □ 若者が多いまち |
| □ 若い人を集める施策が少ない | □ 子どもが住みやすいまち |

文化

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| □ アート系の情報を集めてほしい | □ ミュージアムつくる 先端技術(F-REI など)とアート |
| □ 学芸員司書いない | □ 陶芸の杜と大堀相馬焼の里の再生 |

帰還困難区域

- | | |
|------------------|--------------------|
| □ 将来に対して不安を持っている | □ 除染～解除を早く終わらしてほしい |
|------------------|--------------------|

その他

- 新しいアパートや建物ができてきて、昔がなつかしい

	よいところ	よくなしてほしいところ	必要な取組・アイデア
環境	☐ 気候が過ごしやすい ☐ 海・山の自然があふれる ☐ 自然が多い ☐ 夏が涼しい ☐ 交通の便がいい	☐ 山で遊びたい	☐ 豊かな森林を活用したレジャー発掘
産業		☐ 若い人の仕事 ☐ 地域を活かした仕事 ☐ 歯科以外の病院	☐ エネルギー作成地区を目指す ☐ 気候を活かしたニッチな産業誘致
歴史	☐ 文化と歴史 伝統的工芸品 ☐ 歴史がある	☐ 伝統芸能従事者が足りない	☐ 歴史的物品の展示場所づくり ☐ 行政区間の横断的つながり ☐ 風土風俗歴史の継承(スポーツ大会とか) ☐ 浪江の各地域の歴史がわかりやすく見えるように(図書館への誘導) ☐ 文化施設
教育		☐ 学校教育での不登校支援 ☐ こどもたちの通学の様子が見えにくい(スクールバス)	☐ 震災遺構を学んだ後の振り返り場所 ☐ 自分の言葉にするキッカケづくり ☐ こどものサードプレイス
コミュニティ	☐ 温かい人が多い ☐ 人との関係性	☐ 井戸端会議のように帰り道で一緒に遊べる感じがほしい ☐ 消防団の人員が不足 ☐ 孤独死関連の見守りの担い手も不足 ☐ 住んでいるうえでの安全・安心	☐ 人が集まる施設 ☐ 大人のサードプレイス ☐ 消防団の横断的サポート ☐ 駅前再開発によるコンパクトシティづくり ☐ 帰還困難区域での見守り隊を全域に ☐ こどものみならず地域を継続的に見守る仕組み ☐ いまやっていることを継続させる

よいところ

よくなってほしいところ

必要な取組・アイデア

産業と仕事

- | | |
|---|---|
| ☐ 道の駅がにぎわっている。 | ☐ 女性の働きやすい環境 |
| ☐ 食べ物がおいしい(海鮮など) | ☐ 十日町を新町通りで |
| ☐ 土地広い | ☐ 飲食店 特に休日営業が少ない |
| ☐ 1日滞在できる環境 シンボルとなるもの | ☐ 物価が高い(低いところが少ない) |
| ☐ 請戸漁港に上がった魚貝類を定期的に販売出来る所 | ☐ 買い物ができる所が少ない |
| ☐ 道の駅北側泉田川に沖鮭の魚道の設置 ※観光客呼び込み | ☐ 宅地等の維持管理の将来的な課題 |
| | ☐ 丈六公園をもっと活用したら良い |

絆の維持

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ☐ 地元愛が強い町民が多い | ☐ 若い人が町内で活躍している |
| ☐ 閉鎖的じゃない | ☐ 新しいもの、ことを受け入れる |
| ☐ 人がおおらか | ☐ 歴史を大切にする気持ちがある |
| ☐ 新旧融合で可能性大 | |

新旧町民の融合(それぞれの立場でのまちづくりへの参画)

- | | |
|---|---|
| ☐ 移住者のパワーを感じる | ☐ “元の町民”、“移住者の町民”とあまり区別しない。転入したら“町民” |
| ☐ 地元の祭りが再開され、地元の人に会えるのが楽しみになった | ☐ 地元の人と移住者との交流の場 |
| ☐ 子供達がのびのびと生活できる | ☐ 高齢者の社会参画(元気な高齢者)(世代間交流) |
| ☐ 子供達の数が増えて来ている | ☐ 高齢者の方が安心して暮らせる町づくり(医療機関や施設) |
| | ☐ 介護施設 老人ホーム的な所 新設 |

再生と住みよい環境

- | | |
|---|--|
| ☐ 自然豊かな環境 | ☐ 道路状況が悪い |
| ☐ 役場付近でほぼ用事が済ませられる | ☐ サイクリングルートの整備 |
| ☐ 田園風景手入れされ良くなって来ている | ☐ 再生可能エネルギーの町推進 |
| ☐ 走りやすい | ☐ 双葉群内の高校の再開 |
| | ☐ 川の整備は建設関係部署に頑張ってもらう |

アクセス

- | | |
|---|--|
| ☐ 浪江 IC が通って便利になった | ☐ 請戸川と高瀬川の整備を進めてほしい |
| ☐ 県立公園高瀬川溪谷の除草をして見学出来る所。佐々木新一碑の所まででも良い | ☐ 鉄道の本数が少ない |
| | ☐ 避難先と浪江の行き来の支援の継続(高速カード) |
| | ☐ サイクリングルートの整備 |
| | ☐ アクセスが悪い |

健康と福祉

- | | |
|--|--|
| ☐ スポーツクラブがあった | ☐ スポーツ施設の利用しやすさ |
| ☐ ボール遊びができる公園 | ☐ 生涯学習の充実 |
| ☐ 公共施設が充実してきた | ☐ 救急医療体制に不安 |
| ☐ 役場の皆さんがプロフェッショナル
☐ 新しいことへのチャレンジ魂がある | ☐ スポーツやりたいけど人がいない |
| | ☐ 少年団 クラブ活動の復活 |
| | ☐ スポーツイベント再開支援 団体補助 |

文化

- | | |
|--|--|
| ☐ 野馬追など歴史的文化を見ることが出来る | ☐ 津島地区の復活、文化の継承 |
|--|--|